

ゼミ・プロゼミ原稿マニュアル

原則

- ・ 原稿は、他人が読むものである。自分の研究経過をそのまま羅列しても読者に真意は伝わらない。人に見せるための工夫をすること。
- ・ 数字、固有名詞の誤りは致命的。何度も確認すること。
- ・ 参考文献は必ず明記してください。参考文献の記載のないものは再提出を求めます。
- ・ 他人のホームページから文章をコピーすることは著作権違反です。レポートを提出しても、単位は認められません。
- ・ むやみに英語を使わない。かっこ悪い。
- ・ 図や表をインターネットからコピーする場合は、必ず出所を明らかにすること。(本来は、やってはいけない)

見出し(タイトル)

- ・ 見出しを考えてから文章を書くくせをつける。見出しだけで予測のアウトラインが把握できるように工夫する。
- ・ 見出しの長さは9字以上 12字以内が基本。長過ぎたり短か過ぎたりしないように。

本文

- ・ 必ず「だ、である」調で書くこと。
 - ・ 最も重要なことから書き始める。各章、節の中でもこの原則を守る。まず結論を述べて、理由を説明する。
 - ・ 一節の長さは20行以内。それ以上になる場合は見出しを増やす。
 - ・ 一文はできるだけ短く。目安としては60字以内。
 - ・ 主語と述語の対応を明確にする。
 - ・ 自分の主張したいことがある場合、そちらの記述を中止に書く。それに対する反論は付け足す程度にする。
 - ・ 「受動態」を使わないくせをつけると、文章がわかりやすくなる。
 - ・ 接続詞はなるべく使わない。使わなくても意味が通じるのがよい文章である。
-
- ・ 分量は、プロゼミは3枚以上、実践ゼミは5枚以上とする。
 - ・ 図かグラフを必ず一つ以上入れること。それぞれに出所を書くこと。

1. 実践ゼミのみ

原稿はワードとエクセルで作成して、締め切りまでにメールで送ってください (yamasawa@atomi.ac.jp)。

図表類はエクセルで作成したものをワードに貼り付けて、もとなるエクセルのデータを原稿送付の際、一緒に送ってください。編集過程が必要です。

2. プロゼミ、実践ゼミ共通

ページ設定を以下のようにしてください。

用紙 A4 縦

文字数と行数を指定する 文字数 = 40、行数 = 35

行送り 20pt

余白 上下はともに 25mm、左右はともに 30mm

フォントは以下のようにしてください。(3 ページの実例を参照してください)

全体のタイトル MS 明朝、18 ポイント

本文中の章立て、小見出し MS ゴシック、10.5 ポイント

章立ては以下のスタイルにしてください。

1. について (本文中では第 1 節と書いてください)

1. 1 についての (数字 1 の後、1 字分あけてください)

1. 1. 1 についての (同上)

小見出しの前は 1 行あけてください。

本文 MS 明朝、10.5 ポイント

数字 算用数字。カンマは打たない。大きな単位は 1 兆 987 億 6543 万 2100 円というように「万」、「億」、「兆」を使ってください。

図表の番号などについて以下のようにしてください。

図と表は分けて、それぞれに図 1、図 2、表 1、表 2 のように番号を付け、タイトルの前に記してください。本文中も同じ番号で示してください。

図表には単位、出所または資料元、必要な場合は注をつけてください。

出所 もとの資料そのままを利用した場合

資料 データを利用してオリジナルの図表を作成した場合

図表も含めモノクロ印刷するので、色で識別する凡例を使わないでください。

注釈は以下のようにつけてください。

本文中の通し番号 (算用数字) は右肩上付きにしてください。説明は各ページではな

く、各章の最後に記述します。(「挿入」「脚注」「文末脚注」「任意の脚注記号」にチェックして「オプション」番号書式の「1,2,3」を選択)

年号は西暦に統一してください。

ページ番号を挿入してください。横位置は「中央」にしてください。

以下は初出の場合のみ、矢印の右側の日本語を明記し、2回目からは左側の略称を使ってください。

GDP 国内総生産 (GDP)

IT 情報技術 (IT)

ASEAN 東南アジア諸国連合 (ASEAN)

AFTA ASEAN自由貿易地域 (AFTA)

NIES 新興工業経済群 (NIES)

EU 欧州連合 (EU)

FTA 自由貿易協定 (FTA)

WTO 世界貿易機関 (WTO)

IMF 国際通貨基金 (IMF)

OECD 経済協力開発機構 (OECD)

A社とB社の比較研究（18ポイント）

（タイトルの下、1行あけます）

山澤 成康（12ポイント）

マネジメント学部2年（9ポイント）

（タイトルの下、1行あけます）

はじめに（以降は10.5ポイント）

この章で何を書こうとしているのか、そのことの意味、この章の構成の説明などは「はじめに」としてまとめてください。ここには小見出しの番号を付さないでください。

（小見出しの前は1行あける）

1. ここから本文に入ります

1.1（1字あき）第1節が枝分かれする時は、このような見出し番号にしてください
いよいよ本文です。図表がある場合は、図1によると、表1によると、といった具合に図と表を分け、通し番号に間違いないようにしてください。本文の中で（図1参照）といった表記も結構です。数字は算用数字で、大きなものは9兆8765億4321万円のように単位を入れてください。

東南アジア諸国連合（ASEAN）、情報技術（IT）などの初出の表現をお忘れなく。注釈はページごとではなく、最後にまとめて記載します。その後が参考文献です。

2. 見出しをつけます

3. 見出しをつけます

おわりに

参考文献

山澤成康（2004）『実戦計量経済学入門』日本評論社

：

参考文献は以下のようにしてください。

邦文の文献は五十音順に、英文の文献はアルファベット順に著者名を並べます。著者名、出版年、論文名、掲載誌名、発行元等を明記します。

（重要！、著者、出版年、タイトル、出版社の順にを守ること）

(例) 犯罪は不況の影響を受けているか

天木 聡江

マネジメント学部 2 年

はじめに

ニュースを観ていると、悲惨な犯罪が増えている気がする。一方で、日本経済はなかなか景気が良くなれない。もしかすると、景気と犯罪は関係があるのかもしれないと考え、統計を調べてみることにした。

1. 現在の犯罪状況

犯罪白書によると、平成 13 年の警察による刑法犯の認知件数は 戦後最高の 358 万 1,521 件 (前年より 32 万 5,412 件増) となった。交通関係業過 (道路上の交通事故に係る業務上過失致死傷及び重過失致死傷) を除く刑法犯認知件数についても、13 年は、273 万 5,612 件 (同 29 万 2,142 件増) と、戦後最高の値を示している。

平成 13 年の刑法犯認知件数を罪名別に見ると、窃盗が最も多く、次いで交通関係業過となっており、両者で全体の約 90% を占めているが、この傾向は過去 10 年間に大きな変化はない。

2. 失業は犯罪を誘発する

犯罪を起こしてしまったら、処罰を受けると言う事だけでなく、職を失うといったマイナス面もある。賃金の高い仕事を持っている人にとって、罪を犯す事はその仕事を失ってしまう危険性があるため、犯罪を起こした時のマイナス面は大きい。逆に、失業者で就職の可能性が低い人にとっては、犯罪を起こした時に受けるマイナス面は小さくてすむ。この不況時には特に、犯罪を起こして刑務所に入った方が衣食住の心配をしなくてよいと思う人もいる。

また、近年では少年犯罪も多くみられる。その理由としては、不況による就職難や、家族・両親の賃金の低下があげられる。就職になかなかつげずに結果的に犯罪を起こしてしまうといったものや、両親の賃金低下によって、こずかい稼ぎで犯罪を起こしてしまうものである。また、少年犯罪は周りの友達や後輩にまで影響するもので、グループ化してしまう特徴がある。

3. 犯罪増加と失業率の関係

文章の推敲の仕方

一度書いたら、時間を置いてもう一度読み直す。わかりにくいところはどんどん直していい。3回以上修正するのが普通。

私たちのゼミの授業内容は 為替レートの予測や「跡見経済新聞」作成に向け、マネジメント学部の先生方を訪ね、「自分の生まれた頃（1983年）に何をし、何を考えていたか」を質問し、文章にまとめています。4月25日には『第一生命経済研究所』にてお話を伺い、5月9日には『読売新聞社』の記者の方が大学まで、5月16日には『日本経済団体連合会』の方が短大まで来てくださり、それぞれの会社（仕事内容）の事や日本経済の事、円レートの予測などのお話を聞き、わからない事に限らず入社きっかけや今後の就職率など様々な質問に応じて頂きました。実際に会社を訪問し、働いている人のお話を伺える機会はなかなか無い事です。また名刺の渡し方や入室の仕方といったマナーも実践してみないとなかなか慣れないものですが、インターンシップに向けて慣れておく必要もあると思いました。社会人になる前にこのような体験ができるのは本当に素晴らしい事 だと思えます。

(修正前)

私たちのゼミの授業内容は¹為替レートの予測や「跡見経済新聞」作成に向け²、マネジメント学部の先生方を訪ね、「自分の生まれた頃(1983年)に何をし、何を考えていたか」を質問し、文章にまとめています。4月25日には『第一生命経済研究所』にてお話を伺い、5月9日には『読売新聞社』の記者の方が大学まで、5月16日には『日本経済団体連合会』の方が短大まで来てくださり、それぞれの会社(仕事内容)の事や日本経済の事、円レート³の予測などのお話を聞き、わからない事に限らず入社⁴のきっかけや今後の就職率など様々な質問に応じて頂きました。実際に会社を訪問し、働いている人のお話を伺える機会はなかなか無い事です。また名刺の渡し方や入室の仕方といったマナーも実践してみないとなかなか慣れないものですが、⁴インターンシップに向けて慣れておく必要もあると思いました。社会人になる前にこのような体験ができるのは本当に素晴らしい事⁵だと思います。

(修正後)

私たちのゼミでは、大きく分けて2つのことをやっています。1つ目は「跡見経済新聞」の作成です。マネジメント学部の先生方に個別に会い、「自分の生まれた頃(1983、84年)に何をし、何を考えていたか」について記事にする作業を進めています。2つ目は、実際に会社を訪問して社会人の方と議論することです。4月25日には有楽町の『第一生命経済研究所』に行き、5月16日には『日本経済団体連合会』の方が短大まで来て下さりました。それぞれの会社の説明や日本経済についての解説、為替相場の見通しなどについて話していただきました。入社⁴のきっかけや今後の就職状況など様々な質問にも快く答えて頂きました。『電力中央研究所』、『三井住友銀行』(それぞれ大手町)にも行く予定です。実際に働いている人のお話を伺うことは貴重な体験だと思いました。また、名刺の渡し方や入室の仕方といったマナーも、実際にやってみて初めて難しさがわかりました。基本的には良く書けている。

¹ 「は」の、述語は？

² 一つの文章には一つのテーマ。為替予測か新聞どちらかにする。

³ 文章が長すぎる。80字以内を目指す。

⁴ 「が」という接続詞は、「しかし」「そして」など複数の意味があってわかりにくいのでなるべく使わない。文章が長すぎる。

⁵ 「素晴らしい」という言葉は、意味が広すぎて印象が薄くなる。「ためになる」「おもしろい」などのほうが良い。さらに具体的な言葉の方が望ましい。